

## 図書館利用者と練馬図書館長との懇談会

- 1 日時 平成29年10月28日（土） 10時30分～12時
- 2 場所 練馬図書館 会議室
- 3 参加者 利用者 13名  
図書館 5名  
(館長、副館長、職員3名)
- 4 テーマ 「私が図書館に望むこと」
- 5 配付資料 (1) 本日の次第  
(2) 練馬区立図書館ビジョン（概要版）  
(3) 練馬図書館利用案内  
(4) 図書館だより（第36号）  
(5) 練馬区立図書館利用者アンケート  
(6) 懇談会アンケート
- 6 次第 (1) 練馬図書館長挨拶  
(2) 図書館職員紹介  
(3) 参加者自己紹介  
(4) 図書館事業説明  
(5) 懇談

### 図書館利用者と練馬図書館長との懇談会 会議録

#### 1 練馬図書館長挨拶

時間となりましたので、始めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたしますします。

それでは、まず最初に、資料の確認からさせていただければと思います。

(省略)

次に、本日の懇談会ですが、一番上の紙、次第に沿いまして進めさせていた

だきたいと思います。

まず、図書館職員の自己紹介の後に、ご参加いただいている皆様の自己紹介、それから、図書館概要の説明を私の方からさせていただければと思います。

その後、前半では、本日の懇談会のテーマである地域の活動と図書館事業の展開について、一緒に考えていけたらと思っております。

後半は、図書館サービスに対するご意見、ご要望などを皆様から伺っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

## 2 図書館職員紹介

館長、副館長、職員 3 名の自己紹介

## 3 参加者自己紹介

省略

## 4 図書館事業説明

(練馬図書館長より説明)

それでは、次第に沿いまして、図書館の事業の説明ということで、説明させていただければと思います。順次、資料を使っていきますので、よろしくお願いいたします。

まず最初が、図書館という 3 枚どめのものなのですが、この練馬図書館ですが、こちらにも書いてありますとおり、練馬図書館については、昭和37年 8 月に、練馬区最初の図書館ということで開設しました。今年で、もう 55 年ということになりますので、練馬区の中では一番古い図書館でございます。

現在は、こちらの表にありますとおり、練馬区立図書館は 12 館と 1 分室ということになっております。さらに、図書館以外に利用登録および予約資料などの貸し出し、返却だけを行うような受取窓口を 6 か所開設しております。今年 9 月には、北町地区区民館 1 階に北町受取窓口、上石神井南地域集会所 2 階に上石神井受取窓口がオープンとなりまして、受取窓口に関しては、計 6 か所ということになります。

受取窓口に関しましては、めくっていただいて、順番が前後してしまって申し訳ないのですが、「利用案内」の中ほどの裏面に、一覧の図で載せさせていただいておりますので、後ほどご確認いただければ、どこにあるのか、利用の際に参考になるかと思います。

説明に戻らせていただいて、「図書館ビジョン」について、簡単に説明させていただきます。これは平成25年6月に策定されました。練馬区立図書館の今後10年のあり方や取り組みを明らかにするために、ビジョンという形でまとめたものでございます。

開いていただきまして、まず、基本理念は、情報拠点として区民の役に立ち、頼りにされ、愛される図書館ということになっております。

図書資料といった情報が集まる場所ですので、情報を活用したり、ハードとして施設を活用していただいて、利用者および地域に役に立つ、愛される図書館、そういう図書館づくりを目指していくことを理念としております。

図書館サービスの方向性が、四つの柱として挙げさせていただいております。

まず一つ目は、情報発信拠点機能の充実。

地域情報、歴史に関することなど、資料の収集、提供を中心に、情報発信拠点として、機能を充実するということになります。

2番目は、学校および子育て家庭などの支援。

具体的には、青少年コーナーの充実や児童室などでの読み聞かせ、ブックスタート事業の実施となります。

それから、学校支援については、練馬区長のもとでのアクションプランが出されておりますが、学校図書館活性化事業があります。学校図書館に、区から支援員を派遣して、学校教育と連携しながら、図書館資料を提供していく、あるいは子どもたちの調べ学習支援を行っていくということになります。

三つ目が、図書館の資料や人材の活用。

職員の専門性といった課題はありますが、一番はレファレンスサービスの活用、充実です。司書資格を持つ者が中心となって、図書の検索ですとか、いろいろな研究などの調べ物に対してお答えしていく、そのような相談といったものを充実させ

ていきたいと考えております。

最後は、区民や地域との共同。地域づくりというのは、いろいろな行政の施設であるとか、あるいは地域で活動されている団体の方々であるとか、また、個人的にいろいろな経験や知識をお持ちの方など、さまざまな団体や区民の方が関係性を持ってつながることで、よりよい地域づくりができると考えております。その拠点として、図書館も考えていく必要があるのではないかということの内容が、これに当たります。

これが現行の図書館ビジョンということで、これをもとに図書館運営を行っていているという現状になりますが、来年度は平成30年度、ビジョン後半の5年間ということになりまして、この内容に少し見直しを加えていくことになっております。

以上が、図書館ビジョンという、本当に簡単な説明ですが、させていただきます。

一つ目の資料、「図書館」に戻っていただけますでしょうか。

図書館の開館時間ですが、平日は午前9時から午後8時、土日祝日は午前9時から午後7時まで開館しております。月曜日が休館日となっておりますが、第2月曜日は開館しております。月曜日が月に1回開館ということになっております。

さらに、祝日が月曜と重なる場合が、現行の制度ですと結構あるわけなのですが、祝日月曜日に関しては開館となっております、その直後の平日をお休みとさせていただきます。

資料を1枚めくっていただけますでしょうか。横に使った表を、細かいのですけども、載せさせていただきました。所蔵資料に関するものになります。

所蔵資料、練馬図書館は平成28年度末の数になりますけれども、図書資料が14万9,000点余り、雑誌が4,600点余り、視聴覚資料が1万1,000点余りで、合計16万5,169点というふうになっております。

この所蔵の数は、区立図書館の中では4番目ということになります。光が丘図書館が約35万3,000点、続きまして、2番目が大泉で22万7,000、3番目、石神井が21万7,000ということで、練馬が4番目の所蔵数ということになります。ちなみに、5番手は貫井図書館の14万1,000点余りとなっております。

この一覧表では、春日町以下の図書館を、右側に他館計としてまとめさせていただきましたので、ご了承ください。

続きまして、その裏側になります。横型の表になります。今度は利用状況の数値を載せさせていただきました。同じく、平成28年度の数値になります。

上から3行目が、来館者の方の数ということになります。

来館者の方の数は、練馬が54万1,000人余りで、平成28年度に関しましては区内の図書館で3番目ということになっています。一番多いのが貫井図書館で76万2,000人余り、2番目が光が丘図書館で75万1,000人余り、練馬が3番目、4番目は春日町という順番になっております。

この数から大体平均しますと、この練馬図書館ですが、平日は大体約1,600人、土日祝日ですと2,200人余り、おおよその数ですけれども、それぐらいの皆さんのご利用をいただいているところとなっております。

上から4行目には、個人の貸出者数を載せてございます。練馬は昨年度、22万3,000人余り。こちらは、練馬区の中では2番目の数値になります。1番目は光が丘で39万2,000人余り、2番目が練馬で、3番目が貫井22万600人余りというような数字が続いております。

続きまして、資料の最後、縦に戻るのですけれども、施設面でのお話をさせていただきたいと思います。練馬図書館は、昭和60年6月に生涯学習センターと一つの建物になりました。この建物の管理責任者、言ってみれば大家さんについては、生涯学習センターさんということになっておりまして、改修工事であるとか、修繕とか、建物が古くなってきていますので、ちょこちょこ必要なのですけれども、そういった場合は、生涯学習センターさんと連携しながら対応しているところになります。

この表の、細かいのですけれども、右の方に座席数を載せさせていただいております。

座席数は、対面朗読室を除いて、机付きの椅子が91、このほかに机なし、椅子だけの席が、雑誌コーナーを中心に35席設けてあります。

この会議室なのですけれども、土日は特に資料を閲覧される方が多いので、一般

閲覧席として開放させていただいているところです。今日は特別に、この懇談会を開くので、こういった形で使っております。

続きまして、資料はないのですが、運営体制のお話をさせていただきます。練馬区では、光が丘図書館、練馬図書館、石神井図書館の3館が、直営での運営となっております。

練馬図書館につきましては、常勤職員が3人、あとは非常勤職員である図書館専門員32人で運営しております。以上のスタッフで開館時から16時30分までを運営して、16時30分から閉館までの時間につきましては民間事業者に委託しているところとなっております。

練馬図書館の図書館専門員は、ほぼ全員が司書の資格を持っております、相談とかレファレンスにつきまして、皆様のご相談に応じております。

ほぼ全員が司書の資格を持っておりますので、レファレンス能力は高い館になっていると思っております。インターネットを通じましたウェブレファレンスについても、当館では、専門員が全部回答しているところになります。

同じく資料はないのですが、現在、練馬図書館でやっている事業について、簡単に説明させていただきます。

練馬区では、平成27年9月に、練馬区子ども読書活動推進計画（第3次）を策定しました。これは、子どもたちの発達段階に応じた読書環境を整備することを基本目標として、関係団体の皆様と連携を図りながら、読書活動の推進に取り組んでいるところでございます。この計画に基づいて、各種の児童向けの事業を実施しているところとなります。読み聞かせを週2回、そのうちの月1回をお話し会、あるいは、ほかに乳幼児お話し会を月1回実施しております。平成28年度は、このような読み聞かせお話し会については、合計で104回、2,200人余りの方の参加をいただいております。

続きまして、ブックスタート事業になります。ブックスタートは、絵本を通じて親子のふれあいを深め、本に楽しんでもらうための事業で、こちらは現在、週1回実施しております。4か月検診の際に、一緒にご案内状を差し上げていて、図書館に来ていただいた方に絵本を2冊手渡しさせていただいて、わらべ歌の紹介など、

保健相談所と連携して地域の方々のお力を借りて実施しております。昨年度は、46回の実施で1,100人余りの参加をいただきました。

さらに、練馬図書館では、小学校7校、中学校3校の学校支援を担当しております。内容としては、学校に出向きまして、お話し会、本の探検ラリー、ブックトークなどを行っております。学校の先生方ともいろいろ連携したり、日程の調整などが非常に厳しいようで実施が難しいところあるのですが、平成28年度は、三つの小学校を13回訪問して、これらの事業を行っているところであります。

あと、成人向け事業。今までは、お子様向けの事業を説明させていただきましたが、大人向けの事業としましては、平成28年度は5回ほど講座を開催させていただきました。

練馬の文化遺産、大人のための児童文学講座を2回、あと検索講座などを開催いたしました。いずれの講座も20名から30名の方のご参加をいただいたところであります。

あと、この図書館内では、年間を通じて本の企画展示などを行っております。こちらは生涯学習センター事業とも連携を行っているところです。

あと、中学校の生徒の職場体験などの受け入れも、随時、行っているところになります。

大体こういったところが、今やっている練馬図書館の事業ということになります。

最後、資料の最後になりますが、アンケート結果をお出しさせていただきました。ここでは細かい説明は省きますので、後でお目通しいただければと思います。

めくっていただいて、10ページ目、10ページ目以降が、練馬図書館について、いろいろな項目について質問させていただいて、皆様の満足度はいかがでしょうかというような質問をさせていただいた、その回答の集計になります。

13ページの所蔵資料についてというところの満足度が、やや低いかなというところ。

あと、めくっていただいて、16、17ページ、図書館でやる事業については、見ていただいたとおり、「利用したことがない」というお答えがどうしても多くなってしまうのですが、こういった事業の周知とか、そういった点を改善して

いく必要があるのかなというように感じているところです。その他の項目につきましても、引き続き、満足度を上げるように努力していく所存であります。

このアンケート後半は本当に自由意見で、皆様のいろいろな意見をいただいております。

当然のことながら、全部の意見に対応するというのは不可能なわけですが、このアンケートのご意見なども受けまして、このアンケートは11月実施ですので、その後の2月、3月ぐらいの時点で、閲覧コーナーの椅子を新しく更新したりであるとか、パソコン席に電源コンセントを五つ取りつけるであるとか、お話コーナーのカーペットの取りかえなどを実施させていただいたところです。

私からの事業説明とかは大体以上になるわけなのですが、本日の懇談会の前半では、図書館ビジョンの中でも区民や地域との共同ということが強く打ち出されておりますので、いろいろな共同事業は今も実施しているところなのですが、何かできることがあるだろうかとか、そういったことを考える機会になればいいかなと思っております。

練馬図書館の基本的事業とか、人的資源などを活用いたしまして、地域の施設、団体の方々と連携していくことによって、練馬図書館としての地域づくりに貢献できるところがあるだろうかとか、そんな可能性についてご意見をいただければと思います。

図書館事業について、地域ではこんな課題を考えているけれども、図書館では、こんなことができるだろうかといったような感じで、ご意見とかご提案とかをいただけるとありがたいかと思っております。

余り堅苦しく考える必要はありませんので、思い浮かんだことを教えていただければいいのかなと思っております。前半は、そういった形で、まず進めさせていただければと思います。それでは、どうぞよろしくお願いいたします。

## 5 懇談

利用者 単純なことでお聞きしたいのですけれども。

図書館 どうぞ。



**利用者** 点字本ってありますよね。あれについて、先日、ごみ処理をする際に、町会では資源回収で本とかを出せるのですが、雑誌類とか。点字についてはどうなのでしょうかとこのご質問があつて、点字については、あれは焼却処分しかないのですか。何かが入っているとこの言つて、回収はできないみたいなことを言われたのです。

**図書館** 練馬図書館では、点字雑誌がございまして、「点字毎日」をカウンターバックに置いているのですが、それは練馬区のお知らせとして来ますので、月3回来ます。そちらを1か月分置きまして、その後のものは今の時点では処分ということ。

**利用者** どういうふうに分を。

**図書館** 清掃の方に託して、処分していただくという方法ですね。

**利用者** だから、そういう方法しかないのですね。いわゆる雑誌と一緒に点字の本を出そうと思ったけれども、点字の本は資源回収できないのでというお話なので、焼却の普通のごみで出すということしかないわけですね。

**図書館** はい。ただ、その中の一部ですが、後ろに点字の一覧表というのがありまして、そちらだけ取っておきまして、小学校4年生が障害のバリアフリーの学習をするのです。そのときに点字のあいうえおという表示のところを1枚ですけれども、参考にとこのことでお渡しできるように取り置いたりということはお考へております。

**利用者** 一般の方の目の見えない方のご意見で、どうしたらいいでしょうということ、お話があつたやうなので。それで、焼却しかないという。技術を持っている方たちが大変な思ひをしてつくられている本なので、もったいないなと思ひまして。図書館には要らないですものね。そういう本は。

**図書館** 光が丘図書館ですと、かなりのスペースがありますので、今までのものは、きちんと置いているということはあるのですが、練馬図書館に関しては、担当で検討した時期もあるのですが、スペースのこともあ

りますし、月に3冊、かなり厚みがございますので。

ただ、どうしても、例えば区報でも、年度で出たものは1年分は保存するとかというものに関してはカウンターバックに常時置いていますので、点字の雑誌に関しては、そのようなことしかできない現状です。よろしいでしょうか。

**図書館**      ありがとうございます。自由に、フリーな感じで、思いついたことをおっしゃっていただければ、こちらでお答えできることはお答えします。練馬図書館全体にかかわってしまうということになりますと、今日のところは伺っておいて、後日の回答ということとさせていただきますと思います。何かよろしいでしょうか。

**利用者**      仕事ではないのですけれども、仕事を離れて個人的に。私は、アマゾンとかで電子図書とかを買って、よく読んで、持ち運ぶのに非常に便利ですから、図書館でも、そういった電子図書の貸し出しとか、そういったサービスをやってもらえと思った記憶があるのかなというふうに思うのですが、そこら辺は、どのような状況で、今後どうしていかれるのかというのを簡単に教えていただけるとありがたいと思います。

**図書館**      ホームページにデジタル資料というのは、今年から、練馬区史とか練馬に関する地域資料などが、ホームページの左をクリックしますとデジタル化されています。

電子書籍についても、何社か呼びしてデモみたいなもので検討しているのですけれども、パッケージで、その資料を買わなくては行かなかったり、メリットとデメリットがありまして、いい電子資料が全て買えるというわけではないものもありまして、既にされている図書館もありますので、検討にはなっていると思います。

**利用者**      実施している図書館というのは、練馬区ではない、どこかほかの区ですね。

**図書館**      そうですね。ほかの区です。

図書館 貸し出し2週間で、例えば10月31日までだとすると、その31日でデータが消えてしまうので、督促する必要がないというのは結構メリットですけれども、その資料1冊につき、何人がアクセスするかとか、そういうことがネックになってしまったり、その資料が要らなくなったときはどうするかとか、新しい資料の買い足しとか、そのような問題を検討している最中だと思います。

利用者 ありがとうございます。

利用者 よろしいですか。

図書館 どうぞ。

利用者 「図書館のビジョン」の中ほどに地域イベントへの参画という内容が書いてあるのですけれども、一番上の「地域情報の発信拠点」という部分です。具体的に地域イベントへの参画というのは、どういうことを予定されているのですか。

図書館 余り回数は多くないのですけれども、今年の夏ですけれども、練馬駅すぐ近くの商店街の・・・。

図書館 練馬商店街。

図書館 子ども笑店街。

図書館 「笑う」方ですね。

図書館 子ども笑店街さんのあれは、町会のお祭りでしたか、全体としては。

図書館 商店街です。

図書館 その中に、一角コーナーをいただくことができておりまして、ここ3年ぐらい、子ども笑店街、笑うお店の街ということで、子どもさん相手にちょっとしたコーナーを設けまして、そこで、合わせて本の読み聞かせなども行って、参加させていただいております。

本来でしたら、どんどんこちらから積極的に出て行って、こういったものを広げていかなくてはいけないのかと思うのですが、こちらの人の数にも限りがありまして、ただ、積極的に、いろいろなものを検討していかなければいけないのかと思っております。

- 利用者**           というのは、各地域に地区祭というのが催されていて、例えば、この前の地域に関する資料の作成ということで、その地域の歴史などを展示するコーナーでも、あれば盛り上がるのかなと思ひまして、今、具体的にどんなものが予定されているのか質問させてもらったのです。
- 図書館**           地区祭に、練馬図書館の持っている資料をお貸しするということをお考えですか。
- 利用者**           貸すというか。例えば、開催地区の歴史的な資料が、こちらにあるかと思いますが、そういうものをコーナーとして職員の方が展示して説明してくれると、住んでいる方が、最近、練馬というのは結構マンションとか、いろいろ多数できて、なじみのない方も多く住居を移転してきますので、そういう方たちに説明するのに、関心を持ってもらうのにいいのではないかなと思って、参考までに。
- 図書館**           ありがとうございます。地区祭の方に、こちらから出向いて行って、資料なども交えて、地区の歴史とか、そういうものですね。
- 利用者**           先日、講座で、練馬アトリエ村というものを、ふるさと文化館の講師をお呼びしまして、講座などを行って、「練馬発見」というタイトルで、練馬を知ろうみたいな講座もさせていただいたのですが、中村橋辺りに練馬アトリエ村もあったということで、芸術家とか文化人が、あのあたりに住んでいらしたということ。今日も朗読講座をするのですが、練馬ゆかりの方だと皆様にご提案しているのですが、そこはかなり参加の方がいらして、懐かしく思われたということもあるので、そういうご提案に沿ってイベントなどを計画したらいいかなと、私も思います。
- 図書館**           地区祭などのときに、具体的な形でご相談いただければ、こちらで対応できるのであれば。
- 利用者**           どちらか相談して参加させていただきます。
- 図書館**           そうですね。こちらからも考慮して対応していきたいと思いますので、ご提案ありがとうございます。

- 利用者 話がまとまった段階で、ご相談に来る場合もあるかと思いますので、一つ、協力をお願いしたいと思います。
- 図書館 どうもありがとうございます。こちらこそよろしくをお願いしたいと思っています。
- 利用者 講座とか何かが終わったときに、パネルをつくったりとかというのはないのですか。よくいろいろなイベントにパネル参加で、例えばそういうものをつくって、パネルを持っていて、図書館としてパネル参加という感じで、それを展示すると、そこで人が見るということの参加でもいいのではないかな。
- 人を一々つけていくのは大変なので、私は指定団体で、先日アトリウムで、いろいろな団体のパネル展示をやったのですけれども、お祭りとしていろいろなことをやっているのですが、パネルを常につくって、パネル参加というのもいいと思いますよ。
- 図書館 なるほど。
- 利用者 だから、歴史についてのパネルを、ある程度2、3枚つくったら、その地域にふさわしいパネルをそちらにお願いするなり、貸し出しするとかという形の参加だと、人がいなくても、搬入搬出だけはしなくてはいけないでしょうけれども。
- 図書館 そうですね。パネルの用意をこちらでしておくということですね。地域の歴史を知る意味でね。
- 利用者 いろいろなことのパネルをつくっておけば。
- 図書館 そうですね。ありがとうございます。貴重な提案をいただきました。ありがとうございます。
- 利用者 あと、こちらのアンケートの意見で、図書館ですと、そちらで本を読んだり、座れますよね。ああいう場所について、今はつらつセンターでも、お食事を子どもさんたちに出したりとか、私も子育ての支援などをやっているのですが、小さい方がいる方は行く場所を探しているのですよね。

午前中は、例えばタコ公園にいられるけど、午後になると小学生が来るから、タコ公園は危険だと。学校もそういうことでは注意しているのですが、そうすると午後からどこへ行こうとって、図書館で本を読んだら、子どもさんにとってもとてもいい場所ですが、騒がしいとありますよね、どうしても。

それについて、ほかの閲覧者の方に、もしかしたら不満になる場合、ここにも出ていますけれども、区切った場所みたいなものができるのか、そういう方が常にいられる場所みたいなものは、図書館はつくりやすいのではないかと思うのですけれども。こういう公的な場所だと、そういうところに常にあるということができるので、小さい方たちの居場所ではないですけれども、親子さんの居場所として、ここにも何か出ているので何か考えてあげて、音が漏れないような方法とか、施設的な問題もあるので難しいかもしれませんけれども。

**図書館**      そうですね。私が住んでいるところの近くの図書館で、私が子どものころ行った図書館は、子どもは入り口も別で、部屋も別というところ、私がたまに行っていた図書館は、そんな感じだったのです。

ほかの図書館のことはわからなかったのですが、ほかの図書館もそんなものだろうと思って、ここへ来てみたら、ただ、子どもは右、大人は左に行って、分かれているだけで、この中にも確かにありますけれども、「子ども連れの親御さんがうるさい」とか、確かに、そういうのは出てしまっているのが現状で、うまく区切ったりできればいいのですけれども、何分、場所のスペースもないし、建物も古くなってきているというので。

もっと古くなってくると、いよいよ建物の改修工事というのが入る時期があるのでしょうかけれども、何とか、その時期にまた何か考えられる部分で考えていくしかないのかなと。

**利用者**      こういう部屋を一つ開放してしまうとか。

**図書館**      そうですね。本当に、ここは場所がないのですよ。会議室はこれだけ

で、あとは、お隣が対面朗読室で、向き合いの取調室みたいなのが一つあるだけで、場所がないというのが何とも痛いところでした。

それこそアンケートですけれども、閲覧の場所がほしいという声が多数派だと考えますので、土日はここを閲覧室として利用するのが、とりあえず妥当なところかな。あと、ブックスタートであるとか、先ほどご説明した、子どもさん向けの事業は、机を隅っこに置いて、カーペットを引いて、ここでやっているのです。

そういった感じで、とにかく、この限られた部屋を有効に使っていくしかないというのが現状で、こちらの寂しいところではあるのですけれども。うまく皆さんの声を聞きながら、やりくりしていこうかなと思っていますところですよ。

**利用者** 学校図書館も、考えたら、もっと一般開放すればいいのですよね。学校の生徒だけではなくて、学童だと午前中は子どもがいなくて集まる場所にしていますけれども、それと同じように、学校の図書室も、もう少し小さい方と親御さんが入る分には心配のない場所だと思うので、そんなことも学校に言ってみるといいかもしれないですね。

**図書館** そうですね。ありがとうございます。

**利用者** 今のお話に関連しているのですけれども、地区区民館の児童開放ということで、子どもたちが個人で来て自由に遊べるような時間というのを月曜から土曜日まで設けているのですけれども、今ご指摘いただいたように、午前中は小学生は小学校に行っていますので、未就学の子どもと、その親御さんが、一緒に遊べるというような状況があります。

午後になると、子どもたちが帰ってくる。うちは学童クラブもあるので、結構こっちに帰ってくるのですけれども、そういった中でも、うちに来館する子どもたちは大人しめなのかなということで、大暴れするような子は余りいないので、そういった子どもたちもいますよという状況の中で、よかったらどうぞという形で、5時までは未就学の子どもと保護者の方もセットでいていただくということで、開放のお部

屋をご利用いただいている状況ではあります。

まず、そんなに利用がないので、お一人か、お二人ぐらいしかないので、ご活用いただければ、こちらとしては、ありがたいですね。

**図書館** 思い出しました。私が前にいたところは、駅の向こうになってしまいますけれども、厚生文化会館の間借りでした。夕方まで小さいお子さんにいていただいても構わないけれども、小学生が走り回る状況になるので、その辺の住み分けですかね。

あちこちの施設で、そういった形で何とか、それぞれが、それなりに頑張っているのかなとは思いますが、ありがとうございます。

**利用者** 練馬区は、学校の図書室に、常時、司書の人が入っていませんよね。それで、私たちの団体というのは、ここにも、お話し会で結構入らせていただいているのですけれども、学校の中の図書室が、もっと司書の方が常時いらしたら、子どもたちがたくさん来て本を手に入る機会が増えると思うのですけれども、いつ行っても司書の方がいないので、子どもは授業のときには確かに来ますけれども、もっと気楽に本を手にとると、今、「本離れ、本離れ」と言われているところが、随分改善すると思うのです。練馬区は、常時、司書の方が学校の図書に入るというのは難しいのでしょうか。中野区とかは入っていますよね。

**図書館** 今年ですが、近隣小中学校との連絡協議会というものがありまして、そちらで、図書館と、練馬で支援しております近隣の、先ほど申し上げました小学校の7校、中学校3校の先生との連絡協議会がございまして、そのときの状況ですと、学校司書の配置に関しては、ただいま、指定管理館というのは図書館から学校への学校図書館支援員というのを配置していますが、この方たちは年間100日、1日6時間という規定です。

あと、直営館の管轄の小中学校は、教育指導課から民間委託で学校図書館監理員というものが配置されておまして、こちらの方も年間100日、1日6時間ということで配置されていますので、多分いらしたと



きには配置されていない時間帯ということもあるかと思います。

**利用者** 配置されているときも入ったりするので、そのときの状況と、図書館の司書の方がいないときの図書館の状況というのは、明らかに違うわけですね。ですから、区の方針として全部に司書が入ったら、随分、子どもの本離れにストップがかかるのではないかなと、いつも思うのです。

人がいない図書室には、子どもはなかなか足が向かないと思うのです。そういうところを押していけないものなのかなと、いつも思います。

**図書館** ありがとうございます。全くご意見のとおりだと思うのですが、ここは練馬区全体の問題になってしまうので、今日のところは伺っておいて、光が丘図書館に伝えます。

**利用者** 希望です。

**図書館** でも、全くおっしゃるとおりですね。国の予算、都の予算、区の予算に余裕があれば、もっと教育とかを充実させていかななくてはならないところなのでしょう。

**利用者** 学校の図書室は、すごくたくさん本があるのですよね。何かもったいないなと思うものですから、要望です。

**図書館** 分かりました。それこそ、さかのぼっていくと国の予算配分の問題になってくるので、何かそんな気がするのですけれども、難しいですね。承りました。

ご自由に何かおっしゃっていただいても構わないですが、お答えできる範囲でお答えします。

**利用者** 私は、高齢者福祉の現場で携わっている者ですが、前回というか、昨年度の、こちらの図書館利用者懇談会にも参加させていただきまして、前回のときのお話で、高齢者の方々の利用に対するサービスの充実という視点等も、たしか話が上がっていたのかなと記憶しています。

例えば、今説明のあった中では、レファレンスサービスは何というレ

ベルの話から、たしか前回あって、そこからの周知であったりとか、広報活動とか、高齢者の方々が使いやすくなる図書館といったものは、どういったものだろうねという話をしていたかなとは思うのですけれども。

その中で、今回こちらの資料を見させていただいて、区立図書館についての10年間の長期ビジョンですよ、これは。それに向けて今、28年度の運営があった結果の利用者アンケートの結果があった上で、今、29年度の下期に入っているかとは思うのです。その中で、ここの練馬図書館としての運営ビジョンとして、今それぞれの関係の方から、例えば地域のイベント参加とかにはどういった形のものがあるかとか、児童に向けたものとか、どういったものがあるかとか、そういったもののご意見があった中で、ここの練馬図書館としての取り組みというのは、上期を終えた上でなのか、それとも中期的な視点でなのか、何か具体的な運営方針というところが、あるのかどうか。

または、児童であったり、高齢者の方々であったり、もしくは地域貢献であったりとか、そういったところでの視点での具体的な取り組みというのは、こういうことをやろうと思うみたいな、そういったものが何かあったりすれば、お伺いできるとうれしいなと思ひまして。

#### 図書館

難しいものですが、最近ですと、先ほどお話に出たのですけれども、今の時期ですと、学校支援ということで、小学校に出向いてのブックトークであるとかお話し会など、子どもさんへの支援を中心にやっている時期でもあります。

あと、先ほど事業説明の中でもあったのですけれども、大人向けの講座の方も、年間5回ほどの開催をしております、より一層、今後充実を図っていかなくてはならないかと思っております。

あと、練馬図書館の基本の方針として、これだけの司書が集まっているところは、ほかの図書館では結構少なくなっていると思ひつたりするのです。

レファレンス能力は、非常に高いということを、先ほどは申しませんでしたけれども、私は自負しておりますので、区民の皆さんの相談に、こんな資料はないかなとか、こんなことを調べたいのだけれども何か資料あるかなとか、カウンター向かって左隅に、相談担当司書が順番で座っておりますので、気楽にご相談していただければいいのかなと。

この前、ある司書が言っていたのですけれども、「司書は絶対手ぶらで帰すな」というのを昔から教えられてきたということをおっしゃっていましたが、「へえ、すごいことを言うね、この人は」と思ったのですけれども、「分からない」とは、言わないらしいのです。ですので、何らかのアドバイスは、調べ物に関してはしてくれるのかなと思っております。その能力の高さが、今の練馬図書館のセールスポイントなのかなと思っておりますので、これから図書館、もっと地域に出ていってというのが、本当に言われてしまうのですけれども、人員配置がいっぱいいっぱいで、なかなか難しいのですよね。

でも、地域には出ていかなければいけないのかなと。そういった場所として、これから図書館は生き残っていかなくてはいけないのかなと。

#### 図書館

昨年も、その話題でお話させていただいたのですけれども、私たち専門員は、全員が認知症のオレンジリングの講習を受けていまして、全員が持っています。図書館総合展とか、図書館大会の中で、超高齢社会に対する図書館のあり方などを検討されています。今それを論議している最中でして、私たちも、専門の教授などをお呼びしたり、地方の高齢認知症カフェとか、あと、光が丘の認知症の集まる場所の方をお呼びして研修しています。

認知症に限らず、高齢者の方、また、そういう方を持った家族の方に対する資料の提案などを、まだ過渡期ですが、少しずつ、大活字本も見やすくして、こういう見やすいポイントを表示したりしていますし、ディスレクシアとか、普通の人ですけれども、文字が読めない障害を

持った方もいらっしゃるって、この前も、そういう講座がありまして、ディスレクシアコーナーなどもつくっていかうとか、月1回の会議、ミーティングで、改善点など少しずつ、ハードがこういうものなのですけれども、改善する意識は高まっております、できる範囲の中で進めていこう。

もちろん、毎朝、リタイアされた男性の方がかなり増えて、新聞が1紙では足りない状況ですけれども、週刊誌も順番に見ていただいたりしております、本当にリタイアされた方が最近多くいらっしゃるの、居心地いい図書館など、サービスも、すぐ椅子をお出ししてお座りいただくとか、本当は、図書館は速く回転させなくてはいけない、図書館は椅子を出すなというところなのですけれども、練馬図書館は、5分以上かかりそうだなと思うと、すぐお椅子を出して、お座りいただいて、じっくりお話を伺ったり、予約を伺ったりするには、職員全員に周知しております。

まだまだ足りないところがありますけれども、改善させていただきたいと思います。

**利用者**      ありがとうございます。お伺いした理由が、昨年、前回のお話のときも、もし何か、そういった高齢者の方々と何かをするであったり、外に出向いてとか、そういったことができる機会があれば、場所も近くなので、何か連携できることとかも前向きに取り組んでいきたいなというお話はさせていただいて、今のお話で、私は以前、中村敬老館に勤務していたとき、運営母体が違う形になるのですけれども、貫井図書館の職員とかに年4回お越しいただいて、高齢者向けの読み聞かせ講座というのを出張でやっていただいていたのです。テーマ選別であったりとか、あと団体貸しで本を貸し出ししていただいていたとかというのも、中村敬老館では以前行っておりまして、そういったところとかもできる形ができるとおもしろい。脳を活性化する音読講座みたいな、そんな感じの内容で行っていたかなと思います。

なので、そういったものとかも、ハード面で難しいところがあれば、何か連携してできればいいのかなというところも思いつつ、先ほどおっしゃったオレンジカフェとかも、私が考える中では、回数と場所の多さ。

子ども食堂とかも、私は同じだと思うのですけれども、開催場所の多さと、開催回数の多さで、地域全体を網羅することで、全体的にカバーしていけるような形になるのが理想かなというふうに思っているの、ここの場所とかでも、何か一緒にそういったことができるといいのかなというふうに思っている先ほどの質問でありました。

もう一つだけ、先ほどの利用状況を見ていて少し気になったのが、光が丘図書館が全体的に数字が大きいのはよくわかるのですが、ハード面の部分であったりとか、貫井図書館さんの来館者数、この多さは運営が違うところもあると思うので、集計方法も違うのかなとか思いながら、これはすごい数字だなと思って、光が丘とか練馬と比べてもトップにあるので、確かにあそこは、いろいろな方が集まっている印象はあるのですけれども、こんなに数値の差が出るものなのか。これは別の質問なのではけれども。

**図書館** 考えられるのは、まず中村橋駅のすぐ近く、交通の便がいいのと、美術館。開館時間も夜9時まで。ですから、ここと比べると、夜が平日で1時間、土日で2時間長いということになりますね。貫井、春日町も同じか。あとは、向こうは美術館がお隣にありますし、その向こうは、サンライフがあったり。

**利用者** そうですね。

**図書館** そうというのが集積しているところかなと思っているのですよね。

**利用者** 来館者数というのは、どうやって調べたのですか。

**図書館** 入口のところに、機械がありますよね。

**利用者** あれで。

**図書館** センサーがついているのです。

利用者            そうなのですか。

図書館            です。完全には正確な数字ではないとお考えください。若干。

利用者            トイレに行ったり。

図書館            もちろんそうです。私もしょっちゅうやっていますから。ですから、若干の誤差ありと。大体こんなものだろうとお考えいただけるとありがたいのですけれども。

利用者            そうですね。すごい数字だなと思って。

図書館            そうですね。貫井図書館に来館する方が多いというのは確かなことだと。

利用者            図書利用以外の利用している方が多いということは、あの当時、伺った記憶はあります。集まりであったり、あと、それこそ一般向けの事業、講座開催とかも積極的にやっていらっしゃる印象はあります。

                    あと、利用状況のところから、練馬図書館の数字を見ると、団体貸しというところが一番、全体と比較して少ない状況なのかなという印象があったので、外に向けてとか、団体に対してというところが何かできると、全体的な数字も少しまた底上げにつながるのかなという印象が、数字を見ていて思います。

図書館            ありがとうございます。

利用者            そういう意味では、かなり拡大されていますので、また。

図書館            今年度はもう少し拡大していく方向で進めて。確かにおっしゃるとおり、拡大していかなければいけないかなと考えております。

利用者            ありがとうございます。

図書館            ありがとうございます。あとほかにご発言されていない方とか、よろしいでしょうか。

利用者            高齢者相談センターですけれども。

                    私たち、司書のご利用者とか、地域の高齢者の方とか、皆さん、こちらをよく利用されている方とかもいっぱいいるのですけれども、先ほど認知症のサポーター養成講座を皆さん持っていらっしゃるというお

話をされていたのですけれども、もし気になるような方とかがいらっしゃいましたら、ぜひ、お声がけとかをいただけたら、何かしらの対応とかできるのかなと思ったので。そこをつけ加えさせていただきたいです。

**図書館**      ありがとうございます。高齢の方の利用が増えてきているというのを、こちらの職員も本当に感じているところですので、最近、そんなにひどい問題はないかと思えますけれども、そのうち、ぜひ相談させていただくことがあるかもしれませんので、よろしくお願いいたします。

**利用者**      いいですか。

**図書館**      どうぞ。

**利用者**      私は、この間、大阪から引っ越ししてきたのです。前のお阪に住んでいたときも、よく図書館へ出入りしていたのですけれども、小さい町だったのです。4万4,000人しか人口がおりませんので、ここへ来て、余りに人が多いのでびっくりしているのです。

そういうところの図書館へ出入りしていましたので、来る人も一緒ですよ。毎日来る人も大体。館長さんも、しょっちゅうカウンターにおられましたから、皆さん隣近所のような格好になっていくのですよ。それでも、今たくさん皆さんがおっしゃいましたけれども、子どもさんと高齢者の方に問題は振り分けていかれるわけです。

子どもさんのことは割とはっきりしますから、やりやすいのです。ですから、どちらかというと紆余曲折があっても、うまくいっているのです。

高齢者は、何をやってもうまくいかないのです。僕も最後、館長さんに頼まれて、いろいろなことを手伝いましたけれども、なかなかうまくいかないです。それで、うまくいかない理由は男性です。男性は、もう放っておいてと。全く参加しないのです。ここでも女性の方が多くですよ、どちらかというと。女性の方は、こういうことにでも割と抵抗なく参加していただけるのです。男性は、どういうわ

けか知らないのですけれども、プライドが高いのかどうなのか知りませんけれども、なかなか手伝っていただけないのですよね。

それと、もう一つ、ここは指定管理なのですよね。

**図書館** いや、ここは区の直営です。

**利用者** そうですか。僕が行っていたところも、指定管理制度になるとか、ならないとかといって、一時大変もめまして、館長さんも、ごたごたしたのでやめてしまったり、不幸な時期があって。

ここでもありますけれども、10年計画とか立派なものは計画あったのですけれども、みんなぐちゃぐちゃになってしまって、図書館の抱えている問題というのは、いろいろ幅広く難しいなど、そのときから思っていたのですけれども。ただ、ここへ来て、二、三日前に読売新聞の社説に、図書館さんのことが載っていたのです。読んでいてほしいと思いますけれども。神奈川図書館というのがあるのだそうです。そこで、高齢者のことに対する取り組み、いいか悪いかわかりませんが、こういうことを始めましたというのが社説に載っていました。ですから、ホームページがあるのかないのか、それも知りませんが、一遍、参考に見ていただきたいなというのがあります。

それともう一つ、お聞きしたいのですけれども、この間、図書館の館長さんと各出版会社の社長さんとの懇談会か、会議か。

**図書館** 全国図書館大会。

**利用者** 文藝春秋の社長さんが、文庫本はやめておいてとおっしゃったということですが、僕も全くそんな意識なかったのです。ここに置いておられるから借りていただけですが、あの記事、読んで考えていたら、僕も佐伯泰英の本でも、なんだかんだ言ったら150冊ぐらいあるのだと思います。それを600円か700円かけたら10万円の本を皆さんに面倒を見てもらっていたのだなと思って、あの社長さんのおっしゃることも無理ないのかなと思ったりするのですけれども、そこら辺は一体、図書館さんとしてはどうなのかなと思ったり。



僕は社長さんの言っておられることは本当なのだなと思います。1年ぐらいは入れないようにして、早く読みたかったら買えばいいではないかという気はするのですけれども、その辺は、僕の意見だけではいけませんので、館長さんとしては、どうなのかなと思って、一遍お聞きしたいなと思うのです。

**図書館**      ありがとうございます。全国図書館大会の席で、その中の社長さんが講演に見えられたのですよね。

**図書館**      もう3年以上前から、文藝春秋の社長がおっしゃって、論議がされている中で、図書館としても副本をたくさん置かない、CDは3点まで、それぞれ、街角に書店さんがなくなる方向もありますし、出版されなければ図書館もないわけで、あと、図書を出して食べている作家さん、そういうものも全て考えながら、ただ文庫で書きおろしというのもありますね。

図書館は資料を保存する、それから知る権利を保障するというものを持っていますので、買わないとは言いませんけれども、副本数を抑えたり、本当に2,000人待ちとかもあるのですけれども、だからといって、たくさん買わない。

あと、学術書というのは、逆に図書館が買うことを前提にして、みずずとか、原書房とか、岩波とか、図書館が買うからこそ研究者も買えるけれども、どうしても、経済との問題もありますけれども、そこを鑑みながら、図書館サイド、出版社サイドで話し合っていこうという流れが、ああいうNHKで放映されたり、新聞に書かれたり、でも、出版社は、出版数は減っているのですけれども、出版点数は1冊3,000とか5,000部しか出版できないのですね。売れないのです。翻訳書の原書房の社長さんも嘆いていらっしゃったり、そういう出版会と図書館会を交流して、どうしたらいいのだろうねという話は出ていますけれども、文庫は置かないとも、図書館の立場的にもできないのですけれども、もっとお金持ちの、自分のほしい本は買って読んでいただいた

方が、2,000人待ちのときとかは、最終目標が文庫で、その赤字を解消していらっしゃるのだと、私も大会に参加させていただいて、そうそうたる社長さんの中で、お話も伺ったのですけれども、図書館として是正していかななくてはならない部分なども、図書館職員で話し合っているとは思っております。

**利用者**           ありがとうございます。

**図書館**           ありがとうございます。ほかに発言されていない方はいらっしゃいますでしょうか。

**利用者**           図書館は本を集めて置いておくという使命もあると思うのです。今も本当に、あっという間に、その本がなくなってしまうので、それで図書館が置いておくということに関して、本当に1年間に一人か二人しか読まないような、でも必要な本というのがあるはずで、それが何か、私はうわさで聞いただけなので違ったりして、ここで申し上げることではないのかもしれないのですけれども、それが捨てられてしまったというような。練馬区は、使われない本を随分たくさん廃棄してしまったという話を聞いて、それを誰が、どなたがこの本は要らないと。

例えば、2年間誰も借りないから要らないだろうとか、何年間か借りられない本で、汚いのは捨ててしまっていていいとか、そういうのも、それは本という形態ではなくて、実は内容ですよ、大事なものは。その本が、持っておくべきなのか、それとも捨てていい本なのかをどなたが考えていらっしゃるのか。ただハンコを押すのか、本当に必要な本。それは、いざとなれば国立国会図書館から引っ張り出せばいいやと思うのではなくて、そこでちゃんと考えて捨てていただきたいなど。ここで言うことかどうかわかりませんが。

**図書館**           練馬図書館の所蔵数が少ないのは、この建物が古いこともありますけれども、石神井も大泉も改築しまして拡充書庫というのをつくったのです。

**利用者**           それをまた捨てたのという話が。

**図書館**       それで、1類とか社会科学と自然科学はそれぞれ、小規模館は別にしまして、地区館は担当館というのがあります。

練馬は2類の歴史地理が担当館でして、最後の1冊というものは、その館で保管するのです。最後の1冊以外の副本は、入りきれないものもあって除籍になることはありますけれども、1冊はキープしていいこうということもありますので、あとは本当にドロドロに汚れてしまったものは除籍せざるを得ないのですけれども。

あと、年度がかわった古いガイドブックがあることは、逆に、それを使ったら間違ってしまうので、そういうものはなるべく置かないようにしておりますけれども。

最後の1冊の担当館というのは決まっています、関町も最近改築されて、そこを共同書房とか、最近、「暮らしの手帖」がテレビで放映されて、古いものは創刊号から持っていてよかったなんて、私も司書として、持っていてよかったなという本もあります、捨てないで。持っているということが、いつ何時、利用者さんに提供できるかというのは、収集、保存することに意味があるので。

あと、練馬区全体として、杉並区は保存書庫というのを持っていますのですけれども、全体として保存していくという、デジタル化ということも鑑みながら両方でやっていこうという方法なのですけれども、書庫が足りないのは、おっしゃるとおりなので、正しいものがあるのですけれども。

**利用者**       すごく好きな絵本があって、この間、見たら、練馬区でたった1冊しか残ってなくて、それで、これはどうしたものだろうかと。今は必要ないけれども、一応借りているという証拠をつくっておいた方が捨てられないのではないかなと思って、とりあえず必要なかったのだけれども借りたりしているのです。

**図書館**       トーマスとか、よその都内のところとかに行くと、本当にきれいなまま書架にあるのですよね。練馬はお子さんがボロボロになるまでご覧

になっているので、よそのところに行くと、きれいなままあるのだな  
と思いながら、ボロボロになったのを本当にお疲れさまというところ  
もあるのですけれども、最後の1冊は、本当に児童図書に関しては、  
版が違くと全然違ってきますので、そこは児童担当者がわかってやっ  
ていると思います。よろしくお願いします。

**図書館** お時間も迫ってきたのですけれども、最後、設備面、施設面で、こん  
な設備がほしいとか、こんなのほしいとか、せっかく今日は生涯学  
習センターさん、大家さんがいらっしゃっていますので、そんなお声  
とかはよろしいでしょうか。

**利用者** (なし)

**図書館** では、終了の時間が迫ってきましたので、本日は、お忙しい中にお集  
まりいただきまして、あと、本当にいろいろな意見をいただきまして、  
本当にありがとうございました。

とても参考になりましたので、ぜひぜひ、あと、先ほどから出ていま  
すけれども、図書館も時代の課題に対応して、少しずつ運営を改善し  
ていかなくてはいけないなと思っております。本当に今日はお集まり  
いただきまして、ありがとうございました。あと貴重な意見ありがと  
うございました。勉強させていただきますので、今後ともよろしくお  
願いしたいと思います。